

授業科目名： 北東アジア研究概論 Introduction to Northeast Asian Studies	担当教員名： 新井洋史、董琪、シャクダル・エンクバヤル、中島朋義、三村光弘、李春霞、佐野晃
---	---

選択/必修： 選択	単位数： 2	開講学期： 前期	開講言語： 日本語（一部英語）
---------------------	------------------	--------------------	---------------------------

ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●	●	

○Aim of this class and themes; 授業の到達目標及びテーマ

この授業では、多岐にわたる視点や複合的な研究分野から北東アジア地域各国の経済・社会の特徴などについて学びます。北東アジア地域に関する研究を進める上での基礎的知識を得ることが期待されます。

○授業の概要

日本と隣接する北東アジアには、中国、北朝鮮、モンゴル、韓国、ロシアという国々が存在しています。これらの国々の経済・社会の仕組みは、それぞれが際立った特徴を持っています。それらの特徴は、近隣国との関わり方や、アジア太平洋地域やユーラシア大陸さらにはグローバル社会といった広がりの中での位置づけとも相互に影響しあっています。本科目は、北東アジア研究所所属の教員が授業を担当し、「北東アジア研究科目群」での各国別の深い学びへの導入となるものです。

○授業の方法

各授業の前に指定された資料をよく読んでください。積極的な姿勢でディスカッションに参加することが期待されます。

○Class schedule; 授業計画

第1回 新井

4/13 イントロダクション

第2回～第3回 董

4/20 4/27 「農業経済研究の概要と農村地域形成」

農業経済学の基本的な研究対象と方法について概説し、新潟を事例に農業地域の形成過程と地域農業研究のアプローチを紹介します。

リーディング：荏開津典生、鈴木宣弘 『農業経済学（第5版）』、2020年、岩波書店。

<https://www.iwanami.co.jp/book/b485274.html>

第4回～第6回 エンクバヤル（英語での授業）

Climate change is one of the most urgent challenges facing humanity in the 21st century. This lecture series examines the causes and impacts of anthropogenic greenhouse gas (GHG) emissions that drive global warming and climate change, with a regional focus on Northeast Asia. It analyzes the structure of emissions, energy systems in Northeast Asian economies, and explores

international and regional responses to decarbonization, including cooperation frameworks aimed at preventing dangerous levels of climate change.

5/7 (木曜日) “Climate Change and International Responses to Climate Change”

Reading:

IPCC (2023). Summary for Policymakers. In: Climate Change 2023: Synthesis Report. Contribution of Working Groups I, II and III to the Sixth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change [Core Writing Team, H. Lee and J. Romero (eds.)]. IPCC, Geneva, Switzerland, pp. 1-34, doi: 10.59327/IPCC/AR6-9789291691647.001

5/11 “Decarbonization and Net-ZERO policies in Northeast Asia”

Readings:

Safonov, G. and Enkhbayar, Sh. (2017). Mitigation of Climate Change: The Breakthrough to. Come from Northeast Asia. ERINA Booklet, Vol. 7, March 2017 (English) and Japanese translated by Nakamura T.

Enkhbayar Sh. (2015). Energy and Climate: Decarbonizing the Energy Supply in Northeast Asia, ERINA REPORT No.126, pp. 20-33

5/18 “Introduction to the En-ROADS Climate Solutions Simulator” (Role playing)

Reading: <https://www.climateinteractive.org/en-roads/>

第7回～第8回 中島

5/25、6/1 「アジア太平洋地域における制度的経済統合の進展」

1997年のアジア通貨危機を契機として、東南アジア諸国連合（ASEAN）を基点として動きが始まったアジア太平洋地域における制度的経済統合について、これまでの流れを概観する。さらに2010年代以降顕著となった米中対立の深刻化、グローバルサウスの台頭といった状況の変化を織り込んで、地域の今後を展望する。

リーディング：片田さおり『日本の地経学戦略ーアジア太平洋の新たな政治経済力学』2022年、日本経済新聞出版

第9回 新井

6/8 「北東アジアにおける地方振興のための多国間協力」

国境・辺境地域の地方振興は、北東アジア地域における地域協力課題の一つとなってきた。北東アジアの中の特定の地域の一部地域の振興のために活動している多国間協力組織である「大図們江イニシアチブ（GTI）」の特徴や歴史などを確認し、国際協力を通じた地方振興の可能性と限界を考える。

リーディング：新井洋史（2024）「大図們江イニシアチブ（GTI）の枠組みを通じた地方振興ーロジスティクス分野での協力の実態を踏まえた考察」『北東アジア地域研究』30号, p.1-14.

第10回～第11回 三村

6/15、6/22 「北朝鮮研究の方法論」

まず、北朝鮮を地域研究の対象としたときに、どのようなアプローチや方法論があるのかを概説します。その上で、経済や法を主たる関心分野としている研究者が、これまでどのような研究を行ってきたのかを紹介します。研究者の実践から、地域研究の醍醐味と限界について考えてみることにしたいと思います。

リーディング：三村光弘（2024）「第3章 経済・法律——社会を見つめるツールとして」『北朝鮮を解剖する』慶応義塾大学出版会

第12回～第13回 李

6/29「中国の地域経済格差」

中国は改革開放以降、経済が急成長し、世界第二の経済大国になった。一方、中国は深刻な格差を抱えている。中国の経済格差とその発生要因を学ぶ。

7/6「中国の知的財産戦略とイノベーション格差」

近年、中国は経済発展のため、知的財産権戦略を実施し、イノベーションを推進している。中国ではイノベーションの分野で、成果を遂げたが、地域間のイノベーションの格差も発生した。授業では知的財産権戦略とイノベーション格差を取り上げる。

第14回～第15回 佐野

7/13「ウクライナ戦争の概説とロシアの安全保障観」

2022年以降、ウクライナとの戦争はロシアの政治体制や国際関係に大きな影響を与えている。本講義では、国際政治学の主要な論点を紹介しつつ、NATOの東方拡大やウクライナの新欧米政策を手掛かりに「なぜロシアはウクライナとの戦争を開始したのか？」について概観する。

7/27「ロシアと東アジア外交」

ウクライナ戦争以降、西側諸国との関係が悪化するなかで、ロシア諸国との連携強化を進めており、特に中国との関係は急速に深化している。また、ソ連崩壊直後のロシアでは、東アジアにおけるパートナーとして、中国に加え日本との関係も重視された時期があった。本講義では、中ロ関係及び日ロ関係を踏まえながらロシアの東アジア外交を取り上げる。

リーディング：横手慎二（著）（2015）「11.ロシアの対外政策（1）対米・対欧州関係」及び「12.ロシアの対外政策（2）アジア諸国との関係」『ロシアの政治と外交』放送大学教育振興会

○Textbook; テキスト

授業計画の各回の記載内容を参照。

○Further reading; 参考書・参考資料等

各担当教員が適宜、提示する。

○Grading; 学生に対する評価

各担当教員に提出したレポートに基づいて評価を行う。

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態：オンライン授業